

外国人材活躍・多文化共生に係る主な課題への対応について

(第1回本部員会議で報告した意見等への対応について)

1 外国人材の確保・定着

＜意見交換会等での主な意見＞

- ・特定技能制度では、賃金、待遇の良い都市部に人材が流出してしまう。
- ・中小企業には労働者が集まらない。
- ・季節的要因が大きい農業における人材マッチングができないか。
(冬に閉鎖する飛騨地方と冬にも仕事がある美濃地方など)

＜既に実施中の主な取組み＞

- ◀ 「外国人雇用企業相談窓口」の設置、企業向けセミナーの開催【商工】
- ◀ 留学生向けWeb合同企業説明会の開催【商工】
- ◀ 海外とのWeb面接に必要な機器整備の支援、農業者からの相談窓口の設置、セミナーの開催【農政】
- ◀ 外国人の雇用に向けた農業経営の改善への支援【農政】



＜今後の展開＞

- 「地域外国人材受入れ・定着モデル事業」(※)を通じた人材の受入れや定着支援を実施【商工・清流・健福】

(※)厚生労働省が主体となって実施するモデル事業(令和2～4年度)

- ・令和2年度は、介護分野の企業向けセミナーや人材マッチングを実施
- ・今後、海外からの人材受入れや関係機関と連携した定着支援を実施し、効果的な支援事例については県内企業へ周知
- ・介護以外の分野についても、今後、ニーズを見ながら、実施を検討

- 農業分野における人材マッチングを支援【農政】

- ・令和2年度は、JAグループや市町村から意見を聴取
- ・今後、JAグループ等を対象に検討会を開催し、県内外の産地同士のマッチングを進めるよう働きかけ

2 外国人県民への教育の充実

<意見交換会等での主な意見>

- ・外国人県民が地域とつながる日本語教育を実施してほしい。
- ・外国人が企業内で日本語を学べるシステムを構築してほしい。
- ・失業等で時間のある外国人もいるため、正社員になれるよう日本語等の研修を実施すると良い。
- ・学齢超過の外国人の学び直しの場にもなる公立夜間中学を今後の取組課題としてほしい。

<既に実施中の主な取組み>

- ◀ 地域の日本語教室へのアドバイザーの派遣【清流】
- ◀ 失業した外国人を対象とした介護の知識や技術、介護現場で必要な日本語の習得に向けた職業訓練の実施（現在、募集中）【商工】
- ◀ 監理団体が技能実習生に実施する日本語研修や住民との交流事業への補助【商工】



<今後の展開>

○市町村や企業による日本語教室の開催に向けた支援【清流】

- ・令和2年度から、地域の日本語教室を担う人材の育成、標準的なカリキュラムやテキストの作成を開始。企業と連携した「外国人就労者向け日本語教室」を2箇所で開催
- ・今後、「外国人就労者向け日本語教室」の拡充に加え、育成した人材や作成したカリキュラム等を活用して、市町村と連携した日本語教室の開催を推進

○公立夜間中学など学びの機会の確保に向けた検討の実施【教育】

- ・令和2年度は、市町村教委や関係団体に対し、ニーズ調査を実施
- ・来年度以降、市町村代表者による意見交換会を開催し、公立夜間中学や初期指導教室の設置、学校における日本語指導の充実など、就学機会の提供の在り方について検討するよう働きかけ